

日程表 10月14日(水):第1日目

国立京都国際会館							
大会議場	RoomA	RoomB-1	RoomB-2	RoomK	RoomC-2	RoomC-1	RoomD
第1会場	第2会場	第3会場	第4会場	第5会場	第6会場	第7会場	第8会場
1,840席	720席	330席	250席	120席	170席	170席	350席
8:00							
40	開会式						
50							
9:00	S1(消化器病) 胃癌対策としてのH.pylori除菌 司会:藤岡利生 浅香正博	S2(肝臓・消化器病) 肝炎ウイルス治療ガイドラインの検証 司会:泉 並木 八橋 弘	S4(肝臓・消化器病・がん検診) メタボリック症候群における肝障害 司会:河田純男 西原利治	PD1(消化器病・内視鏡) 食道胃早期癌に対する内視鏡下手術の新展開と適応拡大 司会:白石憲男 小山恒男			W3(肝臓・消化器病) 免疫担当細胞異常からみた肝疾患の病態 司会:考藤達哉 上野義之
10:00							
11:00							
12:00							
30	学会評議員会 (消化器病) 12:30-13:40	ランチョン 大日本住友製薬(株) B型慢性肝炎に対する治療戦略—長期的な治療成績を踏まえて—	ランチョン 田辺三菱製薬(株) 生活習慣病と消化器疾患	ランチョン シェリング・プラウ(株) 難治性C型肝炎に対する治療の工夫	ランチョン ユーシーピージャパン(株) 大薬品工業(株) 広がりゆくAcid Related Diseases (ARD)—上腹部症状の原因はこれだ—	ランチョン グラクソ・スミスクライン(株) 高齢化社会での変化しつつある消化管診療におけるリスクマネージメント	ランチョン 日本化薬(株) StageIII,IV肝癌に対する治療戦略—Never Give Up!—
13:00							
40							
14:00	理事長講演(消化器病) 公益法人制度改革と日本消化器学会の対応 菅野健太郎 司会:跡見 裕	S3(肝臓・消化器病) B型肝炎ウイルス再活性化の問題点とその対策 (会長講演を兼ねて) 司会:田中榮司 田中靖人	W1(肝臓・消化器病) NASHは生命予後に影響するか? 司会:渡辺純夫 橋本悦子	W2(消化器病) 膵胆道癌のサーベイランスは可能か 司会:平田公一 中泉明彦			W4(肝臓・消化器病) 早期肝細胞癌の診断ストラテジー 司会:青柳 豊 向坂彰太郎
15:00	招待講演(消化器病) Inflammation and Cancer: Opportunities for Treatment and Prevention R. DuBois 司会:坂本長逸						
20	招待講演(消化器病) The role of endoplasmic reticulum stress in intestinal inflammation R.S. Blumberg 司会:渡辺 守						
16:00	特別講演(消化器病) 自然免疫の最前線 審良静男 司会:林 紀夫						
17:00							
10							
30				東部会評議員会 (肝臓) 17:10-17:40			
40	サテライト 中外製薬(株) ロシユ・ダイアグノスティックス(株) C型肝炎治療の将来展望—診断と治療として医療連携—	サテライト 田辺三菱製薬(株) C型肝炎治療の最前線—次世代の治療薬を見据えて—	サテライト グラクソ・スミスクライン(株) B型肝炎治療の最新情報				サテライト 日本新薬(株) 2009年度 OTSUKA Award授与式 肝硬変におけるQOL評価としての自覚症状の意義と有用性
18:00							
19:00							
30							
20:00							

国立京都国際会館	グランドプリンスホテル京都				国立京都国際会館	
RoomE	プリンスホール	ゴールドルーム	ローズルーム	ロイヤルルーム	アネックスホール	イベントホール
第9会場	第10会場	第11会場	第12会場	第13会場	第14会場	商業展示
350席	1,300席	440席	250席	320席	1,500m ²	3,000m ² (受付併設)
8:00						
9:00	W5(消化器病) 炎症性腸疾患治療における免疫抑制剤の位置づけ 司会:松井敏幸 仲瀬裕志	PD3(消化器病) わが国におけるFunctional dyspepsia—その病態と実態— 司会:本郷道夫 春間 賢	W6(肝臓・消化器病) DPC時代における肝細胞癌治療戦略—アンケートパッド— 司会:熊田 卓 椎名秀一朗	PD4(肝臓・消化器病) 非侵襲的肝病態評価法の進歩 司会:森安史典 吉岡健太郎	PD5(消化器病) 消化器がんの分子標的治療 司会:高後 裕 大津 敦	
10:00						
11:00						
12:00						
30	ランチョン アストラゼネカ(株) How do we diagnose and treat Barrett oesophagus?	ランチョン 中外製薬(株) 第2回 CHUGAI Award 授賞式 C型肝炎に対する治療の現状と今後の展望	ランチョン アボットジャパン(株) モレキュラー事業開発部 リアルタイムPCR法を用いたB型・C型肝炎の診断と治療への応用	ランチョン エーザイ(株) 薬物性肝障害の実態と対策—重篤副作用疾患別対応マニュアルより—	ランチョン パルテリスファーマ(株) イマチニブによるGIST治療の最適化に向けて	商業展示
13:00						
40						
14:00	PD2(消化器病・内視鏡・吸収) 小腸治療内視鏡現状と今後の展望 司会:樫田博史 山本博徳	S5(消化器病・内視鏡) Early recognition of oesophageal adenocarcinoma occurring in Barretts oesophagus. 司会:P. Sharma 星原芳雄	W7(肝臓) 肝疾患診療連携拠点病院と病診連携—各県における肝疾患診療ネットワークの現状と問題点— <<アンケートパッド>> 司会:佐田通夫 金 守良 西口修平	W8(肝臓・消化器病) 肝線維化・発癌機構の解明 司会:鹿毛政義 坂井田功	S6(消化器病・肝臓) 消化器癌におけるエビデンス 司会:篠村恭久 伊東文生	
15:00					ポスターセッション (消化器病) 15:00 ~ 17:00	ポスターセッション (肝臓) 15:00 ~ 17:00
16:00						
17:00						
30						
40	サテライト 日本新薬(株) 消化管領域における残された課題—NSAID起因性消化管傷害—その予防と治療の可能性を考える					
18:00						
19:00						
30						
20:00						